

東日本大震災から 11 年

日頃の地震の備えは大丈夫ですか？



2011年3月11日（金）14時46分頃に三陸沖を震源地とする地震が発生しました。震源の深さは24km、マグニチュードは9.0、最大震度は宮城県北部で7、東京23区は震度5強を観測しました。現在も2000名を超える方が行方不明となっています。

大震災から11年目を迎えますが、まだまだ不自由な生活をしている方、避難生活を継続している方など様々な立場の方がいらっしゃいます。

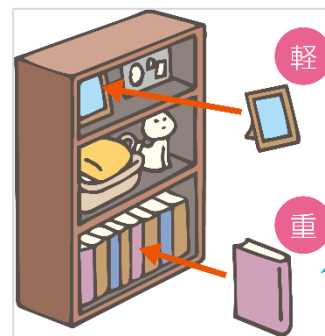
震災の日をきっかけに、ご家庭の地震対策を見直してみましょ。地震が発生して停電、断水、ガスの供給停止など当たり前に享受していたものがなくなった場合に、どれくらいご家庭で過ごすことができますか？食料や飲料は備蓄していますか？

地震が発生した際、被害状況によってはご自宅で過ごせる場合もあるので、2週間ぐらいはご家庭で過ごせるように備えをしておきましょう。

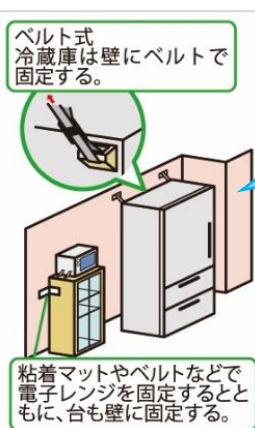
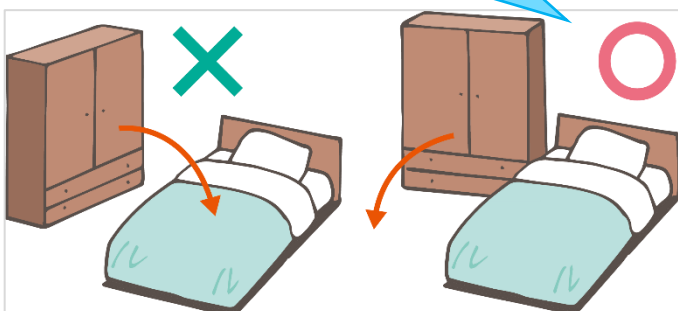


家具のレイアウトや収納方法を工夫しましょう！

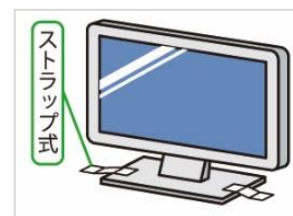
地震が発生した際、家具類が転倒することで3つの危険が発生します。一つ目が、「けが」の危険、二つ目が「火災」の危険、最後の三つめは「避難障害」の危険。家具の転倒防止、レイアウトの工夫、物を収納する際に、重いものを下にし、重心が低くなるようにするなど普段からの備えで被害を軽減することができます。

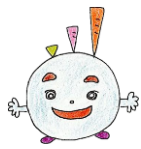


家具がベッドや布団を敷く場所に倒れてこないようにしましょう！

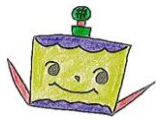


転倒防止器具はホームセンターなどで販売しています。





自分も家族も助かるためにできること



《非常持ち出し袋に入れておくと便利なもの》

・充電器、バッテリー

携帯で連絡を取ったり、情報を得たりするためにもモバイルバッテリーは必需品！

・大判ハンカチ

マスクの代わりにや止血の際に使用できます

・家族の写真・連絡先

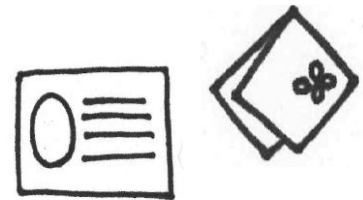
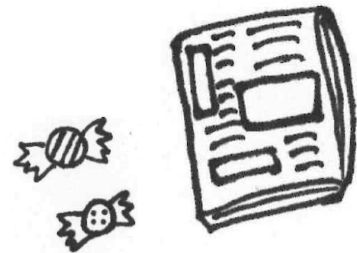
家族と離れ離れになってしまったときに役立ちます

・新聞紙

暖を取ったり紙食器を作ったりいろいろ使えます

・チョコレート、あめ

避難所では甘いものがなかなか用意されないのであると癒されると思います



《安否確認の方法》



ONTT 災害用伝言ダイヤル(171)

○公衆電話→自宅付近にある公衆電話を確認しておきましょう。10円玉や100円玉もストックしておくとう安心です。

○携帯メール→携帯電話より比較的繋がりやすいです。

○遠隔地を中継する→電話やメールは被災地よりも遠隔地の方が繋がりやすいです。遠隔地に暮らしている親戚や友人を中継して安否確認をするのも1つの方法です。

ご利用方法

伝言の録音方法

171 にダイヤル



ガイダンスが流れます



録音の場合 1 をダイヤル



自分の電話番号をダイヤルし、ガイダンスに従い録音。

伝言の再生方法

171 にダイヤル



ガイダンスが流れます



再生の場合 2 をダイヤル



安否を確認したい相手の電話番号をダイヤル。

問合せ先 尾久消防署 地域防災担当

電話：03-3800-0119 FAX：03-3810-0119